



図書館

イベント情報

こどもどくしょフェスティバル開催!



絵本「給食番長」の
よしながこうたく先生がやってくる!
絵本作家のよしながこうたく先生のライ
ブイベントを開催します。

◀『給食番長』好学社

と き 5月3日(木)祝

[開場]午後1時 [開演]午後1時30分

ところ 中央図書館

対 象 市内の小学生(先着100人)

申し込み先 各図書館

こどもの読書週間(4月23日(月)~5月12日(土))に併せ、
イベントや展示を行います。詳しい内容は図書館ホーム
ページ、または各図書館にお問い合わせください。

中央

5月4日(金)祝 エプロンおばちゃんのおはなし会
図書館スタッフと一緒に菓子づくり

5月5日(土)祝 つまごめ座の紙芝居

5月6日(日) 図書館スタッフによるおはなし会

※リサイクル本の販売(1冊10円)や図書館クイズなども開催します。

泗水

- ・私の本棚(子ども向け)▶好きな本を集めて、1人一つの本棚を作り、展示します。
- ・妖怪クイズラリー▶図書館にひそむ妖怪を見つけ、クイズにチャレンジ。

七城

- ・おすすめ本展示▶司書のおすすめ本を紹介します。

旭志

- ・うちどくノート配布▶読んだ本と感想を書けるノートを配布します。
- ・おみくじ▶本を借りると「日本のむかしばなし」をモチーフにしたおみくじが引けます。

中央図書館 ☎0968(25)1111

泗水図書館 ☎0968(25)1115

七城図書館 ☎0968(25)1580

旭志図書館 ☎0968(25)3332

休館日

月曜日

お知らせ

図書館の開館時間・休館日が変わります

中央図書館以外の3館は、半年間の試験期間として日曜・祝日も開館します。

【開館時間】午前10時~午後5時

公民館

公民館活用法②

私の公民館デビュー action!

公民館は大きく分けて「まなぶ」「つかう」「つながる」の3つの活用法があります。前回の「まなぶ」に引き続き、今月は「つかう」「つながる」について紹介します。

「つかう」

公民館には大・中・小研修室、調理実習室、多目的研修室、工作室など、さまざまな部屋があります。使用料も安いので、会議やサークル活動など用途に合わせて利用できます。

部屋はどうやって借りるの?

Step1 公民館の部屋と使用料を市HPの菊池市施設予約管理システムもしくは電話などで調べます。

Step2 使用する部屋、日時、目的などを電話で問い合わせます。※電話による申し込みや仮予約はできませんが、空き状況の確認はできます。

Step3 利用する日までに公民館で申請書を記入・提出し、利用料を支払います。

Step4 当日いざ入室。

※内容によっては使用できない場合もありますので、詳しくはお尋ねください。

「つながる」

公民館は、学校や地域住民、他の社会教育施設などと連携して社会教育活動を行っており、皆さんと諸団体を結ぶお手伝いもしています。「やりたいことがあるけど、どうすれば…」という人は、公民館にご相談ください。

中央公民館 ☎0968(25)1672

泗水公民館 ☎0968(25)2028

七城公民館 ☎0968(25)1580

旭志公民館 ☎0968(25)3332



万句の里俳句会 3月句会

揚雲雀声が光と馴染むまで
ぼうたんの芽のほころびて球をだく
叩くことのみを一途に野焼勢子
踏むことをためらふほどの落椿
若木にも高き香りや沈丁花

光本とよいち
田中 美智
岩木 敬治
隈部 輝子
北村 妙子

せせらぎ俳句会 3月例会

春めくやふつと忘れし肩の凝り
お見舞に露味増添へて届けられ
お下げ髪はつさり切つて卒業す
揚げ雲雀吾も唄ひたし青い空
暖かや老いて豊かな笑ひ皺

五丁 義昭
藤本アツ子
森 正子
寺本 和子
藤本 邦治

旭志文芸教室俳句の会 3月詠草

盆梅もほころび初めし今朝の空
十六夜や春の朝空明けきらぬ
離近し若菜摘みつき戻りけり
米寿とふ鮭雑炊の祝かな
金メダルコーヒータイムの春炬燵

中尾ヨシコ
稗田 達恵
芹川のり子
水谷 ミネ
芹川 蓉子

肥後狂句水笑会 3月例会

見て見んふり そばばち食らおづはなか
ありがたい 今朝も目が覚め息しきる
酒いわく ケンカしろとは言うとらん
あたりまえ 火の前行けばあたたまる
酒いわく 底無しちゅうはあたたかい

井手 水光
柏原 乗仏
宮上 美由
御手洗三代
山隈 好茶

七城短歌会 3月詠草

さ庭にも水仙ことごと花来たり幾つか我に向き合うがあり
みどり濃く葉丈が伸びし玉葱の欲求に応えマルチ剥ぐなり
平昌でそだねのカー娘ら英チームのラストのミスで銅賞もぎとる
孫嫁ぎ空きいる部屋の戸を繰れば壁の暦が音立て揺るる
ラジオから昭和の歌声流れくる得意の一つ口ずさむなり

池田カツ子
佐々 重弘
嶋田 晴美
緒方 寛子
緒方 正俊

「里」短歌会 3月詠草

春雨に暫し桜花も憩えるか澄みて染み入る読経の御声
風なきに桜はなびら舞い落ちる睦月に逝きし姉の重なる
寒さにもさまざまに湧く想ひありわが日常に感謝する日々
引き揚げ船を待つ幼のわれを書きし手紙文字跡薄れ昭和は遠く
里帰り終わりにて戻るわれの背を押すか真つ赤な今日の夕焼け

松本 和子
梶原美智子
安見 朱實
坂本 玲子
原口 紗季

さわやか大学文芸クラブ 3月歌会

粉雪が朝の陽浴びてキラキラとまるで舞い散る桜のように
早春の光差しくる野菜畑ネギ蒔草の緑葉清し
うから集ひ祝ひてくる吾が卒寿巡る祝盃に類染めながら
デイケアの植木市行き楽しかり米寿記念に梔子の木購ふ
サスペンス見つとうと夕食後気付いた時に終りの文字が

田中 遙子
北村 玉恵
山下 菊代
川口 敦子
山田 弘子

菊池短歌会 4月詠草

菜の花をうち振りみちみち歌う子は菊池の聖迫に帰れる
庭隅につくし六本芽を出せり春の来たるを告げんとぞせし
寂しさが漏れてしまはぬ様に貼る隙間テープを心の縁に
いつしかに足るを忘れし近代は憐れまれぬ縄文びとに
をみなごのやさしき肌かきりぎしの水に映れる山桜花

安藤 則子
古賀 勝士
中川 愛子
怒留湯健蓉
淵上 修次